

第 20 回腸内細菌学会プログラム
「腸内細菌と健康保持—先人の知恵と最新の研究に学ぶ—」

日時：平成 28 年 6 月 9 日（木）～10 日（金）

場所：東京大学伊藤国際学術研究センター

大会長：平田晴久（わかもと製薬株式会社）

参加費：会員 6,000 円 一般 8,000 円 学生 1,500 円（事前登録）

会員 8,000 円 一般 10,000 円 学生 2,000 円（当日登録）

参加事前登録：平成 28 年 3 月 1 日（火）～5 月 13 日（金）

大会 URL：<http://bifidus-fund.jp/meeting/index.shtml>

お問い合わせ：公益財団法人日本ビフィズス菌センター事務局

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12

TEL: 03-5319-2669 FAX: 03-5978-4068 e-mail: jbf@ipecc-pub.co.jp

<学会プログラム> ※ プログラムは変更になる場合がございます。

6 月 9 日（木） 9:30-17:45

（午前）

●一般演題 A 発表

（午後）

●腸内細菌学会 20 周年記念シンポジウム『腸内細菌学会の 20 年を顧みて』

- ①上野川修一（東京大学名誉教授、財団前理事長）「腸内細菌学—その未来への期待」
- ②川島拓司（財団前総務主幹）「財団設立の背景とその経緯」
- ③田中隆一郎（(株)ヤクルト本社）「腸内細菌学のあけぼの 腸内細菌学会の 20 年」

●海外特別講演

Satchidananda Panda (Salk Institute, USA)

「Interactions among diet, eating pattern, and gut microbiome contribute to host metabolism」

●ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式・受賞講演

●シンポジウム 1『糞便移植の可能性を探る』

- ①Els van Nood (Harbor Hospital Rotterdam, Netherlands)

「The current status and future of Fecal Microbiota Transplantation」

- ②金井隆典（慶應義塾大学）

「臓器間ネットワークの中心に存在する腸内細菌の役割」

- ③石川大（順天堂大学）

「潰瘍性大腸炎に対する抗菌剤併用便移植療法の確立を目指して」

●懇親会（東京大学伊藤国際学術研究センター内にて）

6月10日(金) 9:30-17:30

(午前)

●一般演題 B 発表

(午後)

●特別講演

須藤信行 (九州大学) 「腸内細菌によるストレス応答・行動特性の制御」

●シンポジウム 2 『腸内細菌と健康保持－最新の研究－』

① 中路重之 (弘前大学)

「岩木健康増進プロジェクトから得られた腸内細菌叢の実態と意義」

② 谷口奈央 (福岡歯科大学)

「乳酸菌を利用した口腔の健康管理」

③ 小田巻俊孝 (森永乳業(株))

「母乳による腸内菌叢制御機構～各ビフィズス菌種の由来と母乳に対する親和性の違い～」

④ 三宅幸子 (順天堂大学)

「腸管免疫と自己免疫」

⑤ 辻典子 (産業技術総合研究所)

「腸内微生物の核酸による抗炎症メカニズム」

⑥ 松本敏 ((株)ヤクルト本社)

「腸内細菌と大腸発がん」

以上